

適用拡大登録

区 分	殺 虫 剤
農 薬 名	協友ダントツ粒剤
登 録 番 号	第 2 1 6 4 5 号
登 録 日	平成 22 年 1 月 20 日
< 有効成分 >	
クロチアジソン	0.50%

登録内容

- ・作物名「稲」に適用病害虫名「ニカメイチュウ」を追加する。
- ・作物名「きゅうり」、「なす」、「メロン」の適用病害虫名「アブラムシ類」使用時期「定植後 但し、収穫前日まで」の使用量を「1～2g/株」に変更する。
- ・作物名「かぼちゃ」の使用量を「1～2g/株」に変更する。
- ・作物名「トマト」、「ミニトマト」の使用時期の「鉢上時」及び「育苗期後半」を合わせ「育苗期」に変更する。
- ・作物名「トマト」、「ミニトマト」の使用時期「定植後 但し、収穫前日まで」の使用量を「1～2g/株」に変更する。
- ・作物名「セルリー」、「だいず」に「アブラムシ類」を追加する。
- ・作物名「らっきょう」に「ネギアザミウマ」を追加する。
- ・作物名「稲」、「稲（箱育苗）」のクロチアジソンを含む総使用回数を「4 回以内（移植時までの処理は 1 回以内、本田での散布、空中散布、無人ヘリ散布は合計 3 回以内）」へ変更する。
- ・作物名「トマト」、「ミニトマト」のクロチアジソンを含む農薬の総使用回数を「4 回以内（育苗期の株元処理及び定植時の土壌混和は合計 1 回以内、散布及び定植後の株元散布は合計 3 回以内）」に変更する。
- ・作物名「かんしょ」の使用方法「作条処理土壌混和」の使用量を「6kg/10a」から「6～9kg/10a」に変更する。

【変更後】

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	加ファジンを 含む農薬の 総使用回数
稲	ウカ類 ツグロコバエ ニカメテウ	3kg/10a	収穫 7 日前 まで	3 回以内	散布	4 回以内 (移植時までの 処理は 1 回以内、 本田での散布、 空中散布、 無人機散布は 合計 3 回以内)
	カメシ類	3 ~ 4kg/10a				
稲 (箱育苗)	イビスゾウムシ イトオオムシ イトハエガリハエ	育苗箱 (30×60× 3cm、使用土 壌約 5L) 1 箱当り 50g	移植 3 日前 ~ 移 植当日	1 回	育苗箱の苗の上 から均一に散布 する	4 回以内 (育苗期の株元処 理及び定植時の土 壌混和は合計 1 回 以内、散布及び定 植後の株元散布は 合計 3 回以内)
きゅうり	アブラムシ類 コナジラミ類 ミナミキロアザミウマ	1g/株	育苗期後半		株元処理	
	アブラムシ類 コナジラミ類	1 ~ 2g/株	定植時	植穴処理 土壌混和		
	ミナミキロアザミウマ	2g/株	定植後 但し、 収穫前日まで	3 回以内	株元散布	
メロン	アブラムシ類 コナジラミ類	1g/株	育苗期後半	1 回	株元処理	
	コナジラミ類		定植時		植穴処理 土壌混和	
	アブラムシ類	1 ~ 2g/株	定植後 但し、 収穫前日まで	3 回以内	株元散布	
	ミナミキロアザミウマ トマトハエガリハエ	2g/株				
なす	アブラムシ類 コナジラミ類	1g/株	育苗期後半	1 回	株元処理	
	アブラムシ類 マメハエガリハエ コナジラミ類		定植時		植穴処理 土壌混和	
	アブラムシ類	1 ~ 2g/株	定植後 但し、 収穫前日まで	3 回以内	株元散布	
トマト ミニトマト	アブラムシ類 コナジラミ類	1g/株	育苗期	1 回	株元処理	
	アブラムシ類 コナジラミ類 マメハエガリハエ	1 ~ 2g/株	定植時		植穴処理 土壌混和	
	トマトハエガリハエ	2g/株	定植後 但し、 収穫前日まで	3 回以内	株元散布	
	アブラムシ類	1 ~ 2g/株				

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	加ファジンを 含む農薬の 総使用回数
かぼちゃ	アブラムシ類	1~2g/株	定植時	1回	植穴処理 土壌混和	4回以内 (定植時の土壌混 和は1回以内、散 布は3回以内)
セルリー		2g/株				
だいず		6kg/10a	は種時		播溝処理 土壌混和	4回以内 (は種時の土壌混 和は1回以内、散 布は3回以内)
らっきょう	ネギアザミ			収穫21日前 まで		
かんしょ	コガネムシ類	6~9kg/10a	植付前 ~ 植付時	1回	作条処理 土壌混和	1回
	アブラムシ類	6kg/10a	育苗期		株元処理	

注意事項の追加

- ・街路、公園等で使用する場合は、使用中及び使用後（少なくとも使用当日）に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払うこと。